

落葉

師走に入り、特に朝晩の寒さが一段と増してきたようだ。11月中旬に一気に色づいた銀杏の葉も、長い間黄葉が続いているようだったが、写真をアップにしてみたところ上の方の枝はすでに随分と葉が落ちてしまっていることが分かった。遠目で見ていたのは葉の色ではなく、枝の色だったのだ。まもなく枯れ木のような状態になってしまうのだろう。

写真は家の天窓から撮ったもので、今までそこから熱心に観察を続けていたわけではなかったが、何回か写真を撮るうちに気が付いたことがある。

五重塔の上に立つ相輪（長さ10mほどあるものらしい）が目立つが、銀杏を挟んでその右に相輪の先端に似たようなものが見えていることが分かった。これは法華経寺境内の奥に建つ聖教殿のものである。我が家からこれが見えるとは、新たな発見だ。

手前の木が落葉樹なら聖教殿本体も姿を現すのだろうが・・・。

2020.12.06（千葉）HT

